

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

樹齡三百逆さげやきに手を合わす我の齡の何と及ばざる 阿部みさ子
 連林といへどわれらはいちづにも田植系種蒔き生業守る 八嶋 正子
 孫来れば暈の縁をラインとしドッジボールに我が身鞭打つ 遠藤 行夫
 ひさびさに夫の浴衣を縫い居れば藍の香ただよう静かなる夜 大槻 きよ
 愛娘の嫁ぐ日ちかくころよりのもの持たせんとキルト縫う友 日下由美子
 背高のポストをみんなでながら一年生は角曲がりゆく 後藤 淑子
 好き嫌いスノーボールの花びらを摘んで占う乙女ごころは 寺崎 悦子
 それぞれに主張あるらし雀らの声高らかなる日曜の朝 佐藤 啓子
 高齢化進む農家の経営者耕作放棄の土地は広がる 四竜 英夫
 梅さくら山吹咲す沢端川城のめぐりの流れうるわし 大庭 良子

【評】一首目、大平中目の西山の巨木か。その樹齡・樹容、自然の生命力に感動する作者。第一句の破調も、思わず出た下の句も、生きている。
 二首目、作者の存念をあらわす結句。その強い響きがいい。
 三首目、二句・三句に興じるさまありあり。

俳壇

遠藤 秋尾 選

新茶汲む香りに刻の流れゆめく 岩松 隆志
 千瀑のしぶきのさまに滝桜 服部 忠孝
 男女高統合の里新樹道 岩澤 伍峯
 子等二三駆け下りて来し坂若葉 斎藤 典子

【評】一句目、「宮城県沖地震」に備えた非常持ち出しも、平穩無事で出番なし。喜ばしい限りだが「治に居て乱を忘れず」を肝に銘じたい。

二句目、突如起こった「新型インフルエンザ」。大型のマスクを掛ける人が至る所に。一日も早い終息を祈るばかり。
 三句目、洗濯物が多いのは、元気な子どものパロメーター。その子どもも巣立ち、洗濯機にも休みができた。うれしさの中に寂しさが。

「旅」

風間市長の風のそよぎ

仙台・宮城デステイネーションキャンペーンや、戦国武将ブームが相まって、白石にはここ数年間にたくさん観光客の皆さんにおいでいただいたいます。それも、大人数でバスを貸し切り、観光地だけをめぐる旅行だけではなく、1人または数人のグループで地図を片手に自分だけの街歩きを楽しむ人たちが多く見受けられます。団体旅行もそれはそれで楽しいのですが、どちらかというと気楽に自分の興味がある所へ行く「街歩き」の方が私は好きです。

「ぶらり途中下車の旅」というテレビ番組があります。都内と関東圏のJRや私鉄・地下鉄が中心ですが、旅人にふんした芸能人が好きな駅で降り、その沿線に住む人やそこで働く人、おいしい名物や珍しいものなどを紹介しています。この番組はリポーターが有名人ですから、さまざまな優遇はあると思いますが、街の路地裏の方までの情報を紹介してくれまますので、詳しく情報収集をすることが出来る番組として楽しみにしています。前に行ったことのある所や何度も通っている道の一本筋違いに、歴史的建物や名所旧跡、名物専門

一時ほかの土地に行くことで。古くは必ずしも遠い土地に行くことに限らず、住居を離れることをすべて「たび」と言いたそうです。
 ある街を訪ねると、国内外問わず自分なりの街歩きをいつもしたくなります。その街の地図を片手に好き勝手にぶらぶらと。道端にある小さな碑や街が持つ独特な店構えやにおい、地元の人々の生活やしぐさ、そして会話や方言。自分の足で歩くか

らこそ、それらを体感できるのだと思います。自分だけの発見や驚きの連続で、ついついうれしくなりますよ。団体で旅行したときも、少し早起きをしてホテルの周りを歩くだけでも味わうことができます。
 白石でも散歩を兼ねて街歩きをすれば、今まで気付かなかった白石を見付けられることと思います。「旅は情け、人は心」という言葉があるように、その時その時を大切にしながら、好奇心と人との出会いに感謝し、自らの生活に張りを持たせましょう。

【6月号の答え】
 「油を売る」：江戸時代は油屋が行商で、ひしゃくや升を使って油を量り売っていました。油は粘度が高いので、お客さんの持つてきた器にすべて流れ込むまでに時間がかかりました。この間、油屋とお客さんが世間話をしながら待っていたことから、時間をつぶすことを「油を売る」というようになり、これが転じて、さぼることを指すようになったようです。

国際コーナー

International Corner



パンだけじゃない

オーストラリアの料理とは、どんな料理ですか？ とよく聞かれます。パンを食べるというイメージが強いと思いますが、実際にはお昼以外はあまり食べません。
 そこで、私の家でどんな料理を食べているのかというと、まず朝ごはんは、シリアルというものでオートミールとも言います。コーンフレークのようなものですが、甘くはなく、牛乳をかけて食べるととても簡単な料理です。それと、最近日本ではやっている朝バナナも取ります。お母さんは、オートミールにバナナスライスとヨーグルトを混ぜて食べます。おじいちゃんは、もっと栄養を取るためにオートミールの種類を一日おきに替えて食べています。お兄ちゃんはほぼ毎朝、朝食をさぼって栄養を取っていません（お母さんによくしかられます！）。これが一般的な朝ごはん、日本と違って毎日同じ朝食を食べています。
 次は、もっと簡単です。お昼はフルーツとサンドイッチだけです。サンドイッチの内容は、お母さんとお父さんの場合サラダですが、僕の場合は、ピーナツバターです。フルーツはリンゴかミカンで、とにかく食べやすい

フルーツにしています。ここで、それでおなかすかないですか？ と思っている方は多いでしょうが、割とおなかすかないです。
 私の家では、晩ごはんはメニューが3つか4つぐらいあります。少し変わっていますが、最初は、フルーツを食べます。これは、お母さんの子どものころからの習慣で、オランダのスタイルらしいです。フルーツのあとは、生野菜を摘んでスープを飲みます。そのあとは、メインになります。ビーフまたはチキンと、ナスやカボチャ、ズッキーニなどのローストが多いです。魚料理を食べるのは週一回ほどです。魚の内臓などに慣れていないので、ヒレをお店で焼いてもらっています。デザートには、ストロベリー、キウイフルーツなどの甘いフルーツか、ジェラートです。皆さん、どう思いますか？ 3つのコースは一人暮らしをしてから一度も作ったことはないですよ！

まちの話題

～あの日、あの時～

スローガンは「優勝めざして全力疾走！」 市内の小学校で運動会を開催

5月23・24日の両日、市内の小学校で運動会が開催されました。
 23日に開催された白石第二小学校（大友幸子校長）では、600人余りの全校児童を1年生から6年生までクラスごとに縦割りして、赤組、白組、黄組の3組で徒競走やリレー、騎馬戦などで競い合いました。
 開会式では、今年4月に入学したばかりの1年生の代表6人による、元気いっぱいの「始めのことば」で運動会がスタート。組ごとの応援合戦では子どもたちが考えた、はやりのギャグを交えた応援のかけ声に合わせて、息のあったエール合戦を繰り広げ、これから始まる運動会での健闘を誓い合いました。
 時折、強風で土ぼこりが舞い上がる中、4年生の徒競

走で競技の火ぶたがきられた運動会は、児童はもちろん、児童の家族の皆さんが会場に詰めかけ、大きな声援を送っていました。



▲4先生の児童による表現競技「銀河鉄道999」